



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月26日

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所 東
 コード番号 8151 URL <https://www.toyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五味 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 十時 崇蔵 (TEL) 03-3279-0771
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 2019年6月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	13,280	△1.7	1,538	△11.4	1,467	△16.3	970	△16.3
2018年9月期第2四半期	13,516	3.3	1,736	△14.0	1,752	△17.2	1,159	△15.7

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 785百万円(△36.6%) 2018年9月期第2四半期 1,239百万円(△21.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	39.34	39.03
2018年9月期第2四半期	46.91	46.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	35,921	30,162	83.6
2018年9月期	34,626	30,123	86.6

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 30,019百万円 2018年9月期 29,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	8.00	—	22.00	30.00
2019年9月期	—	12.00			
2019年9月期(予想)			—	20.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	1.7	1,500	5.1	1,500	3.8	1,100	△9.9	44.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期2Q	26,085,000株	2018年9月期	26,085,000株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	1,599,417株	2018年9月期	1,361,647株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期2Q	24,657,409株	2018年9月期2Q	24,714,850株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示変更について）
当第2四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. 参考情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは“はかる”技術を基本としたビジネスコンセプトを継続しながら、研究開発市場に傾注してまいりました。そして国内産業の次なる成長の糧となる“新しい技術・製品の開発”の一翼を担うべく、欧米を中心にした先端計測技術・機器の導入と、ソフトウェアを中心にした自社システム製品の増強に力を入れてまいりました。また、中国を中心としたアジア市場に加え、米国市場にも目を向け、当社製品のユーザー開拓に注力してまいりました。

この結果、連結売上高は132億8千万円（前年同四半期比1.7%減）となり、この内、国内取引高は125億4千3百万円、中国や米国を中心とした海外取引高は7億3千7百万円となりました。

利益面では、営業利益15億3千8百万円（前年同四半期比11.4%減）、経常利益14億6千7百万円（前年同四半期比16.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億7千万円（前年同四半期比16.3%減）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループは経営管理区分および社内組織の見直しを行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より以下のとおり報告セグメントの統合、名称変更を行っております。

従来の「メディカルシステム」と「ナノイメージング」を統合し、「ライフサイエンス／マテリアルズ」に名称変更しております。さらに製品ラインの一部を「ライフサイエンス／マテリアルズ」から「物性／エネルギー」に移管しております。

また、従来の「情報通信」と「セキュリティ&ラボカンパニー」を統合し、「情報通信／情報セキュリティ」に名称変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。

(情報通信／情報セキュリティ)

情報通信におきましては、5G（第5世代移動通信システム）に対応する大型試験装置を複数受注することができました。第3四半期から来期にかけて順次納入する予定です。さらに、主力のネットワーク機器性能試験装置や自社製品SYNESISの販売も好調で、売上・利益共に大幅に増加しました。情報セキュリティにおきましては、現在サービスビジネスについて立ち上げ中のため、引き続き経費が先行しています。この結果、売上高は29億5千7百万円（前年同四半期比10.8%増）、営業利益は1億6千3百万円（前年同四半期比107.9%増）となりました。

(機械制御／振動騒音)

機械制御／振動騒音におきましては、センサーの新規事業の販売が伸びましたが、自社開発中の自動運転車両向け開発支援システムを含む複数の新規事業立ち上げのために経費が大幅に増加しました。この結果、売上高は36億5千万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は9億6千万円（前年同四半期比12.1%減）となりました。

(物性／エネルギー)

物性／エネルギーにおきましては、自動車向け次世代電池やパワーエレクトロニクスの評価システムの販売が引き続き堅調でした。また、電池の基礎研究分野向け自社開発システムの販売も順調に立ち上がってきています。一方、米国での新規ビジネスの立ち上げに伴う先行投資のため経費が増加しました。この結果、売上高は26億2千5百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益は4億9千7百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

(EMC／大型アンテナ)

EMCにおきましては、主要顧客である国内外の自動車関連市場への受注が継続して堅調でしたが、設置場所などの顧客都合により複数の大型システムが納入に至らず、受注残が大幅に増加しました。大型アンテナにおきましては、宇宙航空研究開発機構（JAXA）より衛星関連の大型プロジェクトを受注しました。この結果、売上高は16億6千8百万円（前年同四半期比14.4%減）、営業利益は8千6百万円（前年同四半期比31.0%減）となりました。

(海洋／特機)

海洋／特機におきましては、防衛省向けの新規取扱い製品販売は引き続き好調ですが、一部の製品のコモディティ化や前期にあった大型システムの販売がなかった事により、売上は大幅に減少しました。この結果、売上高は8億7千4百万円（前年同四半期比38.5%減）、営業利益は2億6千4百万円（前年同四半期比42.8%減）となりました。

(ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援におきましては、主力の構成管理ツールや静的解析ツールの販売が堅調に推移しましたが、仕入コストの高騰などにより売上総利益率が低下しました。この結果、売上高は5億4千4百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益は2千9百万円（前年同四半期比64.5%減）となりました。

(ライフサイエンス／マテリアルズ)

ライフサイエンス／マテリアルズにおきましては、医療機関向けの画像診断システムや国内医療機器メーカー向けOEM製品、電子顕微鏡などの販売が好調でした。また、取り扱い製品の集中と選択により経費の削減に取り組みました。この結果、売上高は9億5千9百万円（前年同四半期比16.3%増）、営業利益は5千3百万円（前年同四半期比353.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億9千4百万円増加し、359億2千1百万円となりました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加16億3千9百万円、商品及び製品の増加12億4千万円等によるものであります。一方、主な減少要因は、現金及び預金の減少8億5千4百万円、投資有価証券の減少9億6千3百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ12億5千5百万円増加し、57億5千9百万円となりました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加12億4千2百万円、未払法人税等の増加2億4千9百万円等によるものであります。一方、主な減少要因は、流動負債のその他の減少1億6千2百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3千9百万円増加し、301億6千2百万円となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加4億1千3百万円によるものであります。一方、主な減少要因は、自己株式の増加1億9千万円、その他有価証券評価差額金の減少1億8千3百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ13億5千4百万円減少し、38億3千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益15億3千4百万円及び仕入債務の増加額12億4千2百万円によるものであり、一方、資金の主な減少要因は、売上債権の増加額16億4千3百万円及びたな卸資産の増加額12億4千1百万円によるものであります。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは3億8千7百万円の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入8億7千4百万円及び有価証券の売却による収入7億9百万円によるものであり、一方、資金の主な減少要因は、投資有価証券の取得による支出12億6千3百万円、有価証券の取得による支出3億円及び有形固定資産の取得による支出2億1千8百万円によるものであります。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは1億7千9百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な減少要因は、配当金の支払額5億4千3百万円及び自己株式の取得による支出2億3千万円によるものであります。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは7億7千4百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び通期の計画を考慮し、以下のとおり修正いたします。なお、2018年10月30日に公表いたしました連結業績予想との差異は以下のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,000	1,400	1,400	1,050	42.48
今回修正予想(B)	24,000	1,500	1,500	1,100	44.92
増減額(B-A)	-	100	100	50	-
増減率(%)	-	7.1	7.1	4.8	-
(ご参考)前期実績 (2018年9月期)	23,590	1,427	1,445	1,220	49.38

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,287,203	2,432,720
受取手形及び売掛金	5,127,980	6,767,711
有価証券	3,589,696	3,704,736
商品及び製品	1,130,129	2,371,045
その他	443,678	593,122
貸倒引当金	△500	△700
流動資産合計	13,578,187	15,868,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,213,507	2,175,082
車両運搬具(純額)	10,792	8,984
工具、器具及び備品(純額)	717,334	814,353
土地	5,607,940	5,607,940
有形固定資産合計	8,549,576	8,606,361
無形固定資産		
のれん	161,934	147,995
ソフトウェア	1,078,396	1,072,780
ソフトウェア仮勘定	161,916	49,541
その他	15,527	15,387
無形固定資産合計	1,417,775	1,285,704
投資その他の資産		
投資有価証券	8,757,822	7,794,814
退職給付に係る資産	509,665	524,835
繰延税金資産	354,830	475,108
長期預金	700,000	700,000
その他	878,498	784,205
貸倒引当金	△119,723	△118,122
投資その他の資産合計	11,081,093	10,160,841
固定資産合計	21,048,444	20,052,907
資産合計	34,626,632	35,921,544
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,330,462	2,572,937
未払法人税等	415,028	664,771
賞与引当金	671,590	631,554
役員賞与引当金	70,000	36,000
その他	1,315,871	1,153,326
流動負債合計	3,802,953	5,058,589
固定負債		
退職給付に係る負債	618,297	619,228
その他	82,308	81,565
固定負債合計	700,606	700,793
負債合計	4,503,559	5,759,382

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	21,823,583	22,237,439
自己株式	△1,532,438	△1,723,033
株主資本合計	29,052,644	29,275,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	971,836	788,671
繰延ヘッジ損益	13,219	11,690
為替換算調整勘定	△50,275	△53,300
退職給付に係る調整累計額	△6,783	△3,391
その他の包括利益累計額合計	927,997	743,669
新株予約権	142,430	142,585
純資産合計	30,123,073	30,162,161
負債純資産合計	34,626,632	35,921,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高	13,516,449	13,280,983
売上原価	7,368,309	7,248,178
売上総利益	6,148,140	6,032,804
販売費及び一般管理費	4,411,442	4,494,738
営業利益	1,736,698	1,538,065
営業外収益		
受取利息	16,726	33,711
受取配当金	28,914	27,192
有価証券売却益	474	2,450
為替差益	16,397	15,303
その他	17,103	27,458
営業外収益合計	79,616	106,117
営業外費用		
支払利息	2,945	1,452
有価証券売却損	750	—
持分法による投資損失	59,527	109,984
和解金	—	65,661
その他	584	21
営業外費用合計	63,807	177,120
経常利益	1,752,507	1,467,062
特別利益		
固定資産売却益	13,037	11,612
投資有価証券売却益	—	57,954
特別利益合計	13,037	69,566
特別損失		
固定資産処分損	5,716	1,769
特別損失合計	5,716	1,769
税金等調整前四半期純利益	1,759,827	1,534,860
法人税、住民税及び事業税	685,000	605,000
法人税等調整額	△84,525	△40,262
法人税等合計	600,474	564,737
四半期純利益	1,159,353	970,122
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,159,353	970,122

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	1,159,353	970,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147,008	△183,165
繰延ヘッジ損益	△41,749	△1,529
為替換算調整勘定	△16,917	△4,717
退職給付に係る調整額	△24,913	3,391
持分法適用会社に対する持分相当額	16,894	1,692
その他の包括利益合計	80,322	△184,328
四半期包括利益	1,239,675	785,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,239,675	785,793
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,759,827	1,534,860
減価償却費	402,981	453,532
のれん償却額	8,996	10,849
貸倒引当金の増減額(△は減少)	400	△1,401
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,000	△40,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,250	△34,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,829	△4,549
受取利息及び受取配当金	△45,641	△60,904
支払利息	2,945	1,452
和解金	—	65,661
持分法による投資損益(△は益)	59,527	109,984
有価証券売却損益(△は益)	275	△2,450
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△57,954
固定資産除売却損益(△は益)	△7,320	△9,843
売上債権の増減額(△は増加)	△3,830,472	△1,643,078
たな卸資産の増減額(△は増加)	△274,352	△1,241,395
仕入債務の増減額(△は減少)	718,663	1,242,976
その他	259,893	△346,655
小計	△965,695	△22,916
利息及び配当金の受取額	60,031	69,429
利息の支払額	△2,945	△1,452
和解金の支払額	—	△65,661
法人税等の支払額	△381,890	△366,736
法人税等の還付額	15,634	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,274,865	△387,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△300,000
有価証券の売却による収入	1,112,724	709,750
有形固定資産の取得による支出	△172,471	△218,526
有形固定資産の売却による収入	11,779	52,118
無形固定資産の取得による支出	△257,512	△129,640
投資有価証券の取得による支出	△1,618,731	△1,263,729
投資有価証券の売却による収入	899,993	874,247
長期貸付金の回収による収入	—	1,601
その他	△112,685	94,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,902	△179,780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△292	△230,876
配当金の支払額	△345,963	△543,913
ストックオプションの行使による収入	9	36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346,246	△774,754
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,070	△12,623
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,773,085	△1,354,495
現金及び現金同等物の期首残高	4,430,551	5,186,842
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,657,466	3,832,347

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 自己株式の取得

当社は、2019年2月4日開催の取締役会の決議に基づき、2019年2月5日に当社普通株式273,700株を総額230,729千円にて取得しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	2,670,653	3,580,291	2,539,414	1,948,947	1,420,912
セグメント利益	78,732	1,092,611	518,265	125,100	462,613

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス/ マテリアルズ	
売上高	531,006	825,223	13,516,449
セグメント利益	82,208	11,831	2,371,364

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,371,364
全社費用(注)	△634,666
四半期連結損益計算書の営業利益	1,736,698

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	2,957,931	3,650,378	2,625,424	1,668,438	874,213
セグメント利益	163,665	960,354	497,558	86,340	264,722

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス/ マテリアルズ	
売上高	544,855	959,741	13,280,983
セグメント利益	29,199	53,616	2,055,457

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,055,457
全社費用（注）	△517,392
四半期連結損益計算書の営業利益	1,538,065

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは経営管理区分および社内組織の見直しを行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より以下のとおり報告セグメントの統合、名称変更を行っております。

従来の「メディカルシステム」と「ナノイメージング」を統合し、「ライフサイエンス／マテリアルズ」に名称変更しております。さらに製品ラインの一部を「ライフサイエンス／マテリアルズ」から「物性／エネルギー」に移管しております。

また、従来の「情報通信」と「セキュリティ&ラボカンパニー」を統合し、「情報通信／情報セキュリティ」に名称変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。

3. 参考情報

業績の推移(実績と計画)

第2四半期 連結累計期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期 純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)	1株当たり 純資産 (円)
第63期 (2015-3)	12,297	1,578	1,828	1,192	43.62	1,185.00
第64期 (2016-3)	12,991	1,544	1,593	1,043	40.90	1,202.92
第65期 (2017-3)	13,090	2,020	2,117	1,375	55.65	1,209.49
第66期 (2018-3)	13,516	1,736	1,752	1,159	46.91	1,210.18
第67期 (2019-3)	13,280	1,538	1,467	970	39.34	1,226.01

通期	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)	1株当たり 純資産 (円)
第63期 (2015-9)	20,996	1,259	1,676	1,008	37.41	1,168.34
第64期 (2016-9)	21,679	1,316	1,395	886	35.23	1,165.31
第65期 (2017-9)	21,586	1,278	1,036	495	20.04	1,174.49
第66期 (2018-9)	23,590	1,427	1,445	1,220	49.38	1,212.64
第67期 (2019-9) 計画値	24,000	1,500	1,500	1,100	44.92	—